

2008年12月17日

**住宅窓の断熱化による省エネルギー効果**  
**- エコガラス (Low-E 複層ガラス) を採用した場合の省エネ優位性 -**  
**のとりまとめについて**

板硝子協会

板硝子協会（東京、会長：藤本勝司）は、このたび、「住宅窓の断熱化による省エネルギー効果 - エコガラス (Low-E 複層ガラス) を採用した場合の省エネ優位性 - 」をとりまとめ、冊子として刊行致しました。（フルカラー印刷：本文 73 ページ、添付資料を含み全 88 ページ）

今日、わが国では地球温暖化対策が急務となっていますが、特に民生部門における住宅建築ではきめの細かい省エネ対策が必要となっており、板硝子協会としてもこのような社会的要求にできる限りの貢献をしたいと考えています。

住宅窓の省エネ対策に関しては、新築住宅においては戸建・共同住宅ともに、断熱効果のある通常の複層ガラス普及はかなり進んできていますが、更に省エネ効果を高めるためには、より断熱・遮熱性能の高い「エコガラス」(Low-E 複層ガラス)を、新築住宅のみならず、既築住宅にも採用されることが重要であり、このため、昨年4月から「エコガラス キャンペーン」というLow-E 複層ガラスの普及・啓蒙活動に取り組んでいます。

板硝子協会は、既に平成19年5月「住宅窓の断熱化による省エネルギー効果(改訂版)」を発行していますが、このたび、現在の住宅における生活パターンを出来る限り正確に反映させるために、気象データ・サッシデータ等、最新のデータを使用したシミュレーション計算を改めて行いました。

**その結果、新築・既存、戸建・共同を問わず、住宅の窓ガラスに「エコガラス」を採用し場合には、建物外皮(屋根・天井・壁・床等)断熱性能の優劣(次世代省エネ基準、新省エネ基準)にかかわらず、一般の複層ガラスよりもさらに省エネ効果もたらされることが、年間暖冷房負荷および年間CO<sub>2</sub>排出量の削減度合いを、地域毎に試算することによって検証することができました。(付属のサマリー資料参照)**

板硝子協会は「エコガラス」、「防災ガラス」、「防犯ガラス」などの高機能ガラスの普及・啓蒙活動に、これからも多方面から取り組んでいきます。

以上

本件に関するお問い合わせ先：板硝子協会 03-3212-8631

(担当調査役：もろお 師尾 はじめ 元)